

SONY[®]

3-860-526-02(1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

Operating Instructions

WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.

WM-GX655

©1997 by Sony Corporation

お買い上げいただきありがとうございます



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ご注意

- ・録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・ラジオカセットコ-ダ-の不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

目次

主な特長	4
付属品を確かめる	5
準備する	6
テープを聞く	8
ラジオを聞く	10
録音する	14

応用

▶テープを聞く		放送局を自分で設定する	20
いろいろな聞きかたをする	16	放送局一覧	22
▶ラジオを聞く		海外でラジオを聞く	24
ラジオを聞くときのご注意	18	▶録音する	
自分で周波数を合わせる	19	録音するときのご注意	25

その他の機能を使う

好みの音に調節して聞く	27	誤操作を防ぐ	28
-------------------	----	--------------	----

電源

乾電池・充電式電池の			
取り替え時期は	29	コンセントにつないで使う	29

その他

お手入れ	30	保証書とアフター・サービス	33
使用上のご注意	30	主な仕様	34
故障かな?	32	各部のなまえ	35

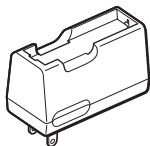
English	37
---------------	----

主な特長

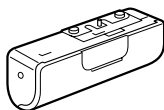
- 付属のステレオマイクまたはラジオからの、録音機能。
- 乾電池併用で36時間、長時間再生。
- 再生・停止・早送り・巻戻しが1つのボタンで操作でき、ラジオも操作できる、液晶表示付き小型リモコン。
- 全国8地域とJR新幹線の主な放送局があらかじめプリセット（記憶）された、マニュアルエリアコール機能。
- AM8局、FM8局をそれぞれ自動で受信して記憶させる、オートメモリースキャン。
- 海外でも使える、ワールドワイドチューナー。
- 16倍高速サーチで前後9曲の頭出しが簡単にできる、AMS。
- 本体の液晶画面で機能の切り換えができる、LCDメニュー方式。
- 重低音を強化した、ベースエキサイトチップ採用ヘッドホン。
- 耳にやさしい音量にする、快適音量（AVLS）。
- 誤操作を防止する、ホールドスイッチ。

付属品を確かめる

充電器



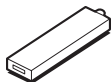
乾電池ケース



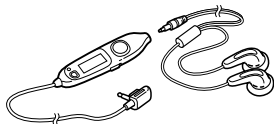
ソニー乾電池
R6P (SR)



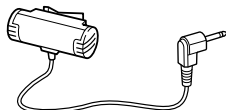
充電式ニカド
電池NC-6WM



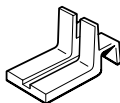
リモコンつきヘッドホン
(別売りのヘッドホンにも付け替えられます。)



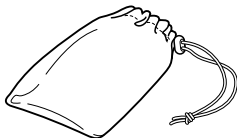
ステレオマイク



マイクスタンド



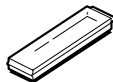
キャリングポーチ



リモコンクリップ



バッテリー
キャリングケース



取扱説明書
ソニーご相談窓口の
ご案内
保証書

準備する

ここでは充電式電池または乾電池での使いかたを説明します。お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。コンセントでの使いかたは、「コンセントにつないで使う」(29ページ)をご覧ください。

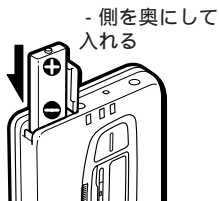
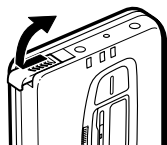
1 充電する

約2時間で充電完了です。



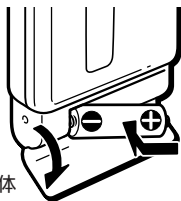
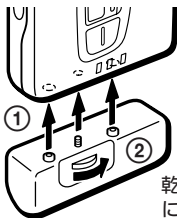
充電式電池は約300回充電できます。

2 充電式電池を入れる



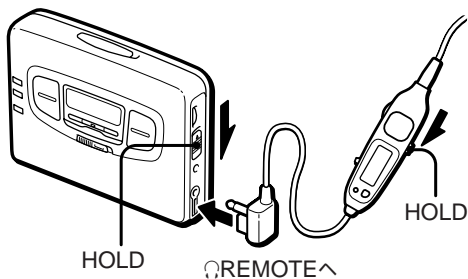
乾電池で使うときは

充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。

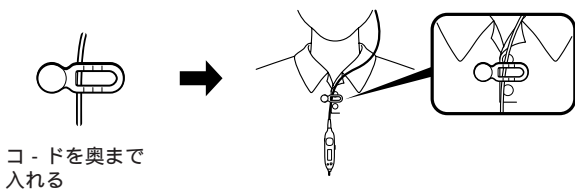


乾電池ケースを本体
に取り付ける

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する



リモコンクリップを使うときは

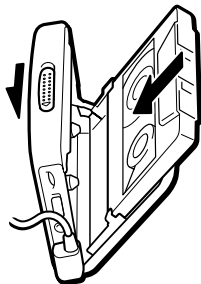


テープを聞く

ノーマル、クロム、メタルのテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセクター機能)。

1 カセットを入れる

① OPENつまみをずらしてふたを開ける



② テープ側を手前にして入れる

2 再生する

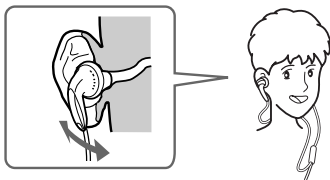
② VOLUMEで音量を調節する



① ◀▶を押す

本体で音量調節するときは、リモコンのVOLつまみを最大にします。
リモコンで音量調節するときは、本体のVOLUMEつまみを6程度にします。

ヘッドホンの正しい装着方法
耳にぴったり合わないときや、
音のバランスが不自然なときは、
少し回転させておさまりのいい
位置を探してください。



その他のテープ操作

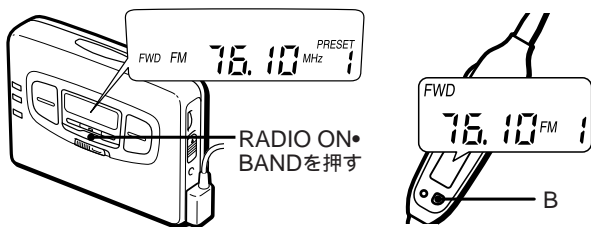
操作	押すボタン	動作の確認音
再生面の切り換え	再生中に◀▶	ふた側の面スタート ピ 本体側の面スタート ピピ
停止	■	ピ
早送り	停止中にFF・AMS	ピ
巻き戻し	停止中にREW・AMS	ピ
早送りして反対面を再生 (スキップリバース)	停止中にFF・AMSを 2秒以上	ピ ピ ピ、ピ、.....
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREW・AMSを 2秒以上	ピ ピ ピピ、ピピ、.....

上記以外のテープ操作は、「いろいろな聞きかたをする(16ページ)をご覧ください。

ラジオを聞く

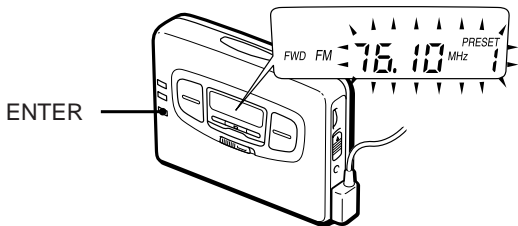
本機には全国8地域と新幹線の主な放送局がエリア番号に記憶されているので、エリア番号を選べば、すぐに受信できます(マニュアルエリアコール機能)。

1 ラジオをつける

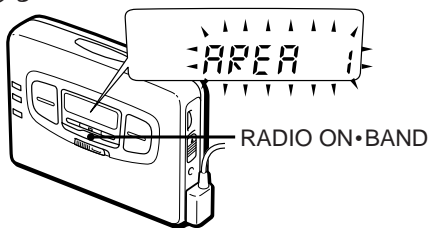


2 地域を選ぶ

①ENTERを押す



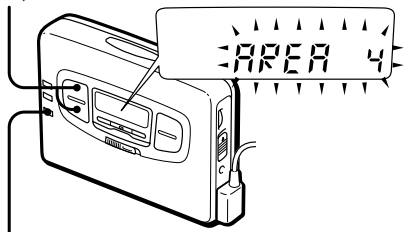
- ② 「AREA 1」表示が点滅するまでRADIO ON・BANDボタンを押したままにする



- ③ 表示の点滅中にPRESET+または-ボタンをくり返し押しして1~8またはJRのエリア番号を選び、ENTERボタンを押す。PRESET+ボタンを押すごとにエリア番号が、1 2 3 4 5 6 7 8 JR USA* Eur* 1 2 3...と変わります。

1: 札幌 2: 仙台 3: 北関東 4: 南関東 5: 名古屋
6: 大阪 7: 広島 8: 福岡 JR: 新幹線

PRESET +、 -

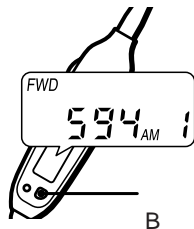
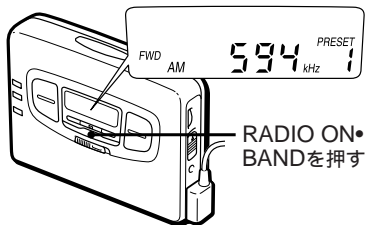


ENTER

- * エリア番号USAとEurは海外でラジオを使うときのものです(「海外でラジオを聞く」(24ページ)参照)。
- ・ 表示の点滅が止まったら手順2-①に戻ってください。
 - ・ 各エリア番号に記憶されている放送局については「放送局一覧」(22~23ページ)をご覧ください。

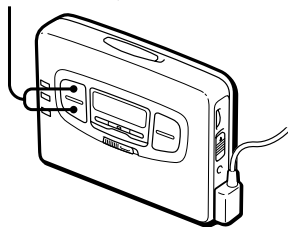
(次ページへ続く)

3 AM、FMを選ぶ

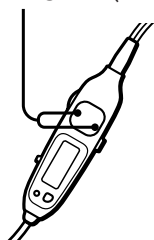


4 放送局を選ぶ

PRESET +、- を押す



PRESET +、-



ラジオを消すには
RADIO OFF (■) を押します。

次にラジオを聞くときは

呼び出した放送局は記憶されています。同じ地域で聞くときは、手順2の操作は不要です。放送局が異なる地域で聞くときは、手順1～4をやり直します。

受信状態をよくするには

AM放送:アンテナを内蔵しているので、本体の向きや位置を変えて、聞きやすいように調節します。

FM放送:ヘッドホンのコードがアンテナになっているので、できるだけのばして使います。

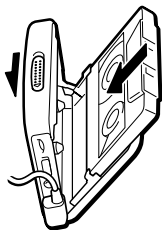
記憶されていない放送局を聞くときやうまく受信できないときは
手動で受信したり、記憶させてください。(「自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)」(19ページ)、「放送局を自分で設定する」(20ページ)参照)

録音する

片面録音ができます。

録音には、TYPE I(ノーマル)テープをお使いください。

1 カセットを入れる

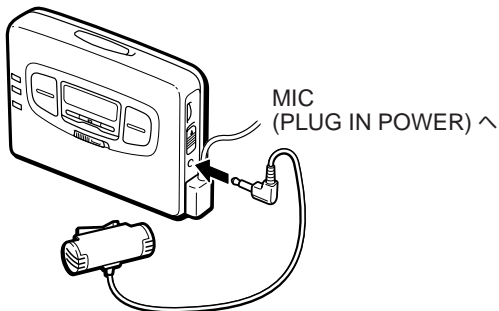


録音する面をふた側にして入れる
表示窓に「REV」表示が出ている
ときは、カセットぶたをいったん
開けてから閉めて、「FWD」表示
が出るようにしてください。

2 音源を選ぶ

マイク録音の場合

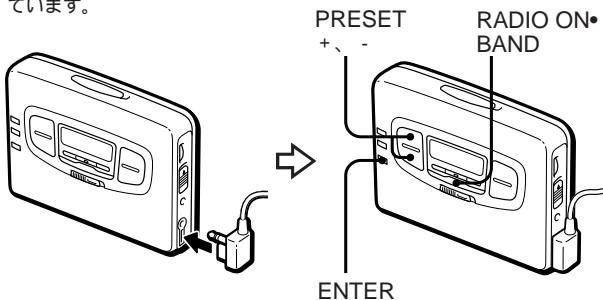
マイクをつなぐ



ラジオ録音の場合

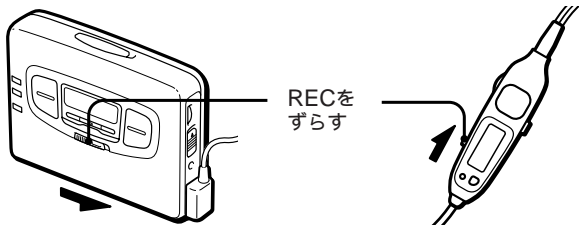
①リモコンをつなぐ
コードがFMのアンテナになっ
ています。

②受信する(「ラジオを聞く」
(10ページ)参照)



3

録音を始める



ツメを折ったテープ (26ページ) には録音できません。

録音を止めるには
■を押します。

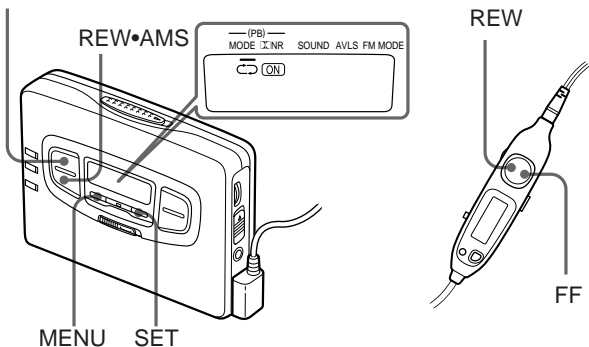
AMを録音中に雑音聞こえたら

本体底面のISSスイッチを雑音が消える位置(1、2または3)に切り換えます。

▶テープを聞く

いろいろな聞きかたをする

FF・AMS



□好きな曲を頭出しする(オートミュージックセンサー)

再生中にFF・AMSまたはREW・AMSを、とばしたい曲の数だけ押します。最大9曲までとばすことができます。



操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
早送りして何曲か先の曲を再生	再生中にFF・AMSをとばしたい曲数押す	ピ あと1曲になるとピッピー、ピッピー、... 「AMS」と「FF」の表示が交互に点灯
巻き戻して何曲か前の曲を再生	再生中にREW・AMSをとばしたい曲数押す	ピ あと1曲になるとピビッピー、ピビッピー、... 「AMS」と「REW」の表示が交互に点灯

AMSが正しく動作しないことがあります

AMS(オートミュージックセンサー)では曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができません。また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。

□ テープ走行のしかたを選ぶ

MENUボタンをくり返し押して、表示窓のカーソルをMODE(PB)の位置に合わせます。SETボタンを押して表示を切り換えます。

操作	MODEの画面表示	動作の確認音
両面をくり返し再生		ピ
両面を1回再生*		ピピ

* 本体側の面から始めたときは、本体側の面のみを再生します。

停止中にカセットぶたを開けると、走行する面はふた側の面に変わります。

□ ドルビーB NRで録音したテープを聞く

MENUボタンをくり返し押して、表示窓のカーソルを□□NR*(PB)の位置に合わせます。SETボタンを押して「ON」を表示させます。録音の特性に合わせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合には「ON」を消します。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。

ドルビー、DOLBY及びダブルD記号□□はドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

MODE (PB) と□□NR (PB) は、録音時には機能しません。

▶ラジオを聞く

ラジオを聞くときのご注意

受信するとき

- 本体やリモコンを他のラジオやテレビ、コンピューターなどに近づけると、本機のラジオに雑音が入ることがありますので、離してお使いください。
- 一部が金属製のテープをお使いのとき、受信状態が悪くなる場合があります。その場合はテープを抜いてラジオをお聞きください。

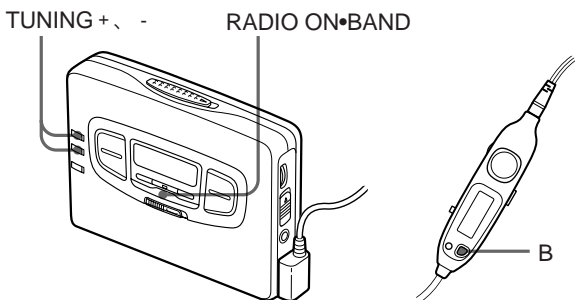
ステレオ放送を聞くとき

通常、FMのステレオ放送はステレオで受信されています。本体の表示窓に「MONO」(モノラル)が表示されているときは、以下の操作を行ってください。

- 1 本体のMENUボタンをくり返し押して、表示窓のカーソルをFM MODEの位置に合わせる。
- 2 SETボタンを押して、「MONO」を消す。

FMステレオ放送に雑音が多いときは、上記の操作で「MONO」(モノラル)にすると聞きやすくなりますが、ステレオではなくなります。AMはステレオにはなりません。

自分で周波数を合わせる(マニュアル選局)



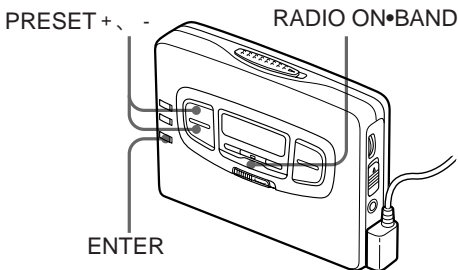
- 1 RADIO ON•BANDボタンを押してラジオをつける
- 2 RADIO ON•BANDボタンをくり返し押してAMまたはFMを選ぶ
- 3 TUNING + または - ボタンを押して、表示窓を見ながら周波数を合わせる

TUNING + または - ボタンを0.5秒以上押したままにすると、電波が強い放送局を自動的に受信して止まります(オートスキャン)。電波が弱くて止まらないときは、TUNING + または - ボタンをくり返し押して周波数を合わせてください。

放送局を自分で設定する

□ 自動で受信して記憶させる(オートメモリースキャン)

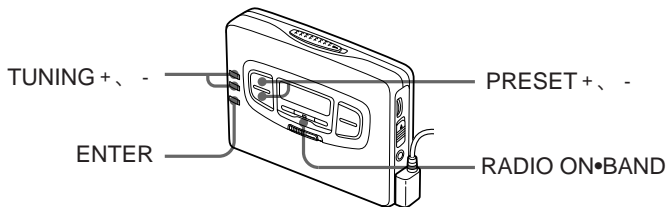
受信できる局を自動的に記憶させます。AM、FMを各8局まで記憶できます。受信状態のよい場所で操作してください。



- 1 RADIO ON•BANDボタンを押してラジオをつける
- 2 RADIO ON•BANDボタンをくり返し押してAMまたはFMを選ぶ
- 3 「A」表示が出るまでENTERボタンを押したままにする
受信できる放送局が自動的に記憶されていきます。
- 4 PRESET + または - ボタンを押してプリセット番号を選んで受信する

電波が弱いときは記憶できる放送局が8局以下になる場合があります。
マニュアルエリアコール機能(10ページ)でエリア番号を切り換えると放送局の記憶は22~23ページの表のプリセット番号の内容に戻ります。

□ 手動で受信して記憶させる(マニュアルメモリー)



- 1 記憶させたい周波数を受信する
「自分で周波数を合わせる」(19ページ)をご覧ください。
- 2 ENTERボタンを押して周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 3 表示の点滅中にPRESET+または-ボタンをくり返し押し
して記憶させたいプリセット番号を選ぶ
このときTUNING+、-ボタンを押して周波数を変えることも
できます。
- 4 表示の点滅中にENTERボタンを押す
これで、受信中の放送局が、選んだプリセット番号に記憶されま
した。
- 5 PRESET+または-ボタンを押してプリセット番号を選
んで受信する

放送局の記憶を消すには

上の手順と同様に操作します。まず、消したい放送局のプリセット番号を選んで受信します。次にENTERボタンを押して周波数表示を点滅させてから、TUNING+または-ボタンをくり返し押しして「- - - -」*を表示させます。ENTERボタンを押すと、選んだ放送局の記憶は消えます。

*「- - - -」は最大周波数あるいは最小周波数の次に表示されます。

放送局一覧

エリア番号表(エリアコールの放送局一覧)

エリア番号：1 札幌			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
番号			
AM	1	567kHz	NHK第1放送
	2	747kHz	NHK第2放送
	3	1287kHz	北海道放送
	4	1440kHz	札幌テレビ放送
FM	1	80.4MHz	FM北海道
	2	82.5MHz	FMノースウェーブ
	3	85.2MHz	NHK FM札幌
	4	88.2MHz	NHK FM名寄

エリア番号：2 仙台			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
AM	1	891kHz	NHK第1放送
	2	1089kHz	NHK第2放送
	3	1260kHz	東北放送
FM	1	77.1MHz	FM仙台
	2	82.5MHz	NHK FM仙台

エリア番号：3 北関東			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	FEN
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1197kHz	茨城放送
	7	1242kHz	ニッポン放送
	8	1530kHz	栃木放送
FM	1	76.4MHz	FM栃木
	2	78.8MHz	放送大学
	3	80.0MHz	TOKYO FM
	4	80.3MHz	NHK FM宇都宮
	5	81.6MHz	NHK FM前橋
	6	83.2MHz	NHK FM水戸
	7	86.3MHz	FM群馬

エリア番号：4 南関東			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
番号			
AM	1	594kHz	NHK第1放送
	2	693kHz	NHK第2放送
	3	810kHz	FEN
	4	954kHz	TBS
	5	1134kHz	文化放送
	6	1242kHz	ニッポン放送
	7	1422kHz	ラジオ日本
FM	1	76.1MHz	FMインターウェーブ
	2	78.0MHz	FMサウンド千葉
	3	78.6MHz	FM富士
	4	79.5MHz	FM埼玉
	5	80.0MHz	TOKYO FM
	6	81.3MHz	FMジャパン
	7	82.5MHz	NHK FM東京
	8	84.7MHz	横浜FM

エリア番号：5 名古屋			
バンド	プリセット	周波数	放送局名
AM	1	729kHz	NHK第1放送
	2	909kHz	NHK第2放送
	3	1053kHz	CBC中部日本放送
	4	1332kHz	東海ラジオ
	5	1431kHz	岐阜ラジオ
FM	1	77.8MHz	FM名古屋
	2	78.9MHz	FM三重
	3	80.7MHz	FM愛知
	4	81.8MHz	NHK FM津
	5	82.5MHz	NHK FM名古屋
	6	83.6MHz	NHK FM岐阜

エリア番号：6 大阪			
バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	558kHz	ラジオ関西
	2	666kHz	NHK第1放送
	3	828kHz	NHK第2放送
	4	1008kHz	ABC朝日放送
	5	1143kHz	KBS京都
	6	1179kHz	毎日放送
	7	1314kHz	ラジオ大阪
	8	1431kHz	和歌山放送
FM	1	76.5MHz	関西インターメディア
	2	80.2MHz	FM802
	3	82.8MHz	NHK FM京都
	4	85.1MHz	FM大阪
	5	86.5MHz	NHK FM神戸
	6	88.1MHz	NHK FM大阪
	7	89.4MHz	FM京都
	8	89.9MHz	FM兵庫

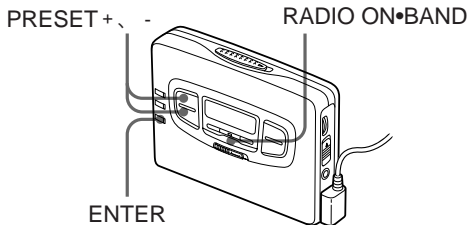
エリア番号：7 広島			
バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	702kHz	NHK第2放送
	2	918kHz	山口放送
	3	1071kHz	NHK第1放送
	4	1116kHz	南海放送
	5	1350kHz	中国放送
	6	1575kHz	FEN
FM	1	78.2MHz	広島FM
	2	88.3MHz	NHK FM広島

エリア番号：8 福岡			
バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
AM	1	612kHz	NHK第1放送
	2	1017kHz	NHK第2放送
	3	1278kHz	RKB毎日放送
	4	1413kHz	九州朝日放送
FM	1	77.9MHz	FM佐賀
	2	78.7MHz	FM九州
	3	80.7MHz	FM福岡
	4	81.6MHz	NHK FM佐賀
	5	84.8MHz	NHK FM福岡

エリア番号：JR JR新幹線*			
バンド	プリセット 番号	周波数	放送局名
FM	1	76.0MHz	-
	2	76.6MHz	-
	3	77.5MHz	-
	4	78.8MHz	-
	5	79.6MHz	-

*東京～博多間の新型車両の列車のみ
(2階建て車両とグリーン車を除く)

海外でラジオを聞く



- 1 RADIO ON•BANDボタンを押してラジオをつける
- 2 ENTERボタンを押して、周波数表示、「PRESET」表示とプリセット番号表示を点滅させる
- 3 RADIO ON•BANDボタンを2秒以上押して「AREA 1」表示を点滅させる。
- 4 表示の点滅中にPRESET+または- ボタンをくり返し押しして「USA」または「Eur」表示を選び、ENTERボタンを押す

自動的に下記の受信範囲に変わります。

使う地域	選ぶエリア番号	受信周波数
アメリカ合衆国、 カナダ、中南米諸国	USA	FM: 87.5 - 108MHz AM: 530 - 1,710kHz
ヨーロッパ、その他	Eur	FM: 87.5 - 108MHz AM: 531 - 1,602kHz

- 5 RADIO ON•BANDボタンをくり返し押ししてAMまたはFMを選び、TUNING+または- ボタンを押して周波数を合わせる

海外でも放送局を記憶させることができます(「放送局を自分で設定する」(20ページ)参照)。

日本の周波数に戻すには

上の手順にしたがって操作し、手順4でAREA 1~8またはJRを選択し、ENTERボタンを押します。

▶録音する

録音するときのご注意

録音レベルについて

録音レベルは一定です。録音される音は、VOLUMEつまみや□□NR (PB)、SOUND、AVLSの設定に影響されません。

テープが終わりまでくると

録音を始めた面の終わりで自動的に録音が止まります。逆側の面に録音するときはテープ面を入れ替えて録音操作をしてください。

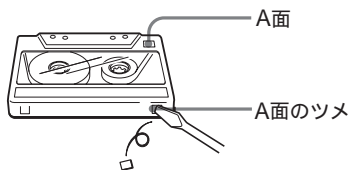
録音について

- ・RECスイッチは録音開始の2秒くらい前に操作してください。直前に操作すると最初の部分が録音されません。
- ・電池が消耗してBATTランプが消えると、録音に雑音が入ったり、性能を十分に発揮できないことがあります。このような場合、なるべく早めに乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電して録音を開始してください。
- ・録音するテープにはTYPE I (ノーマル) テープをお使いください。CrO₂テープやメタルテープを使うと、再生する音がひずんだり、前の録音が消えずに残ったりすることがあります。
- ・録音中の音を聞くときは、あらかじめSOUNDの設定を「表示なし」にしておいてください。「MB」「GRV」になっていると雑音が聞こえてくる場合があります。録音中はSOUNDの設定を変えることができません。

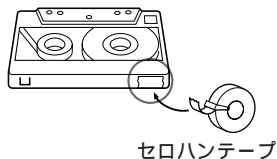
マイク録音について

- ・ヘッドホンで録音モニター中に音量を上げると、その音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。この場合には、音量を下げてください。
- ・付属のマイクは、本機につなぐと電源が本機から供給されるプラグインパワー方式です。
- ・録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズを拾うことがあります。

大切な録音を守るには
ツメを折って取り除きます。

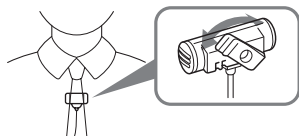


再び録音するには、穴をふさぎ
ます。



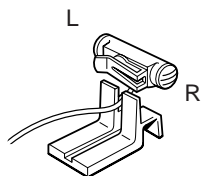
ツメを折ったカセットテープには、
RECボタンをずらしても録音するこ
とができません。

付属のマイクを使うには

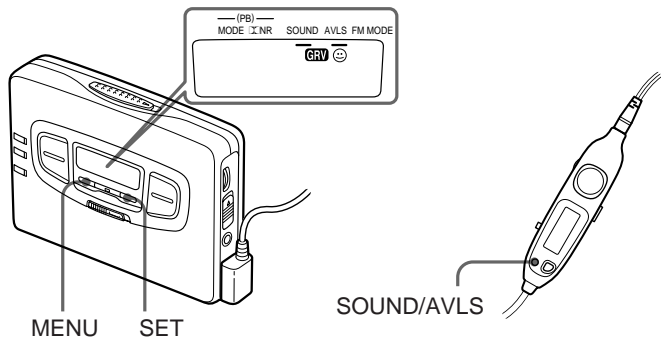


クリップはマイクを付ける場所に
合わせて方向が変えられます。

付属のマイクスタンドもご利用く
ださい。



好みの音に調節して聞く



□ 低音を強調する (SOUND)

本体のMENUボタンをくり返し押し、表示窓のカーソルをSOUNDの位置に合わせます。SETボタンをくり返し押しして表示を切り換えます。リモコンで操作する場合は、SOUND/AVLSボタンをくり返し押します。押すごとに次のように切り換わります。



GRV (グループ) にしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MB (メガベース) または表示なしにしてお聞きください。

□ 音もれを抑え耳にやさしい音にする (AVLS - 快適音量)



MENUボタンをくり返し押して、表示窓のカーソルをAVLSの位置に合わせます。SETボタンを押して「☺」を表示させます。リモコンで操作する場合は、SOUND/AVLSボタンを2秒以上押し「☺」を表示させます。AVLS使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは音量を下げて使います。

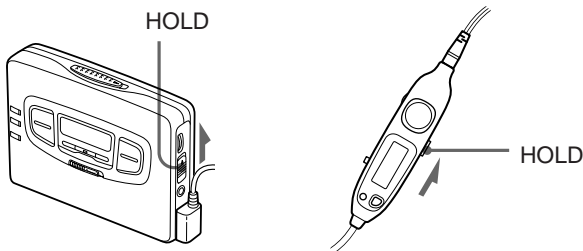
AVLSを解除するには

上記と同様に操作し、「☺」表示を消します。

AVLSの設定は電池を交換するまで記憶されています
電池を交換すると、設定は解除されます。

SOUND、AVLSの設定は録音される音には影響しません。

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



HOLDスイッチを矢印の方向にずらして、誤操作を防ぎます。

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

電池が消耗すると、本体前面のBATTランプが暗くなります。テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなるので、乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電しなおしてください。

乾電池は持続時間の長いアルカリ電池の使用をおすすめします。

電池の持続時間について

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時	マイク録音時	ラジオ録音時
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約29時間	約30時間	約10時間	約6.5時間
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約8時間	約9時間	約4時間	約3時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約36時間	約37時間	約13時間	約9時間
ソニー乾電池R6P (SR)	約8時間	約8時間	約3.5時間	約2時間

ご注意

電池持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

- 1 乾電池ケースを本体に取りつける
充電式電池が入っていたら取り出してください。
- 2 別売りのACパワーアダプターAC-E15L (日本国内用) またはAC-E15HG (海外用) を乾電池ケース側面のDC IN 1.5Vジャックにつなぐ
- 3 ACパワーアダプターをコンセントにつなぐ

コンセントにつないで使うときはご注意ください。

- ・必ず充電式電池を本体から抜いてください。入れたままで使用すると充電式電池の性能が低下することがあります。
- ・この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15LまたはAC-E15HG (極性統一形プラグ・EIAJ規格) をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ・AC-E15HGは、お買い上げになる地域により仕様が異なります。使用する地域の電源電圧やプラグの形状をお確かめのうえお買い求めください。



極性統一形プラグ

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください

他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

充電・充電式電池について

- ・お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば十分充電されるようになります。
- ・充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- ・充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- ・充電式電池を持ち運ぶときは、付属のキャリングケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の+と-がショートして危険です。

日本国内での充電式電池の廃棄について



このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd

この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国の法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- ・落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ・リモコンやヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- ・次のような場所には置かないでください。
 - －温度が非常に高いところ (60 以上)。
 - －直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - －窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
 - －風呂場など湿気の多いところ。
 - －磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - －ほこりの多いところ。
- ・温度が高いところ (40 以上) や低いところ (0 以下) では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- ・長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- ・長時間テープについて
90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。また、薄いテープで録音すると、高音ののびが悪くなる場合がありますので、なるべくお使いにならないでください。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎで、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ

海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。

故障かな？

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
カセットぶたが 開かない	再生中にOPENつまみを ずらした。	テープを止めてからOPEN つまみをずらす。
	再生中または録音中に 電源をはずしたり電池が 消耗してしまった。	電源を入れ直し、消耗した電 池は新しいものと交換する。
RECスイッチを ずらすと警告音が 鳴り、録音が始ま らない	テープの誤消去防止用の ツメが折れている。	穴をセロハンテープなどでふ さく。(26ページ参照)
	表示窓に「REV」 表示が出ている。	カセットぶたをいったん開け てから閉め、「FWD」表示が 出るようにする。
雑音が入ることが ある	本機の近くで携帯電話な どの電波を発する機器を 使用している。	携帯電話などから離してご使 用ください。
音量が大きくな らない	AVLSが働いている。	AVLSを解除する。 「好みの音に調節して聞く」 (27、28ページ参照)
低音が強すぎたり ひずんだように聞 こえる	SOUNDが 働いている。	SOUNDを解除する。 「好みの音に調節して聞く」 (27、28ページ参照)
テープ再生時に 雑音が多く、 音質が良くない	ヘッド、キャプスタン、 ピンチローラーが汚れ ている。	別売りのクリーニングテープ CHK-1できれいにする。
操作ボタンが 働かない	HOLDが働いている。	HOLDスイッチを矢印と反対 方向にずらす。
	充電していない充電式 電池が入っている。	充電式電池を充電する。 「準備する」(6ページ参照)
動作や表示が おかしい	----	いったん電源・電池をはずし て、15秒以上たってから入れ 直す。
リモコンの表示が おかしい	----	いったん本体からリモコンを 抜き、再度差し込む。
ラジオを聞いたり テープの再生はで きるが、録音がで きない	電池残量が少ない。	電池を新しいものと交換す る。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

ワールドモデルをお買い上げのお客様へ
海外での保証とアフターサービスについて

- ・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。
- ・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。

主な仕様

テープレコーダー部・共通部

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲 (EIAJ*)	再生時 (DOLBY NR (PB) OFF): 20 ~ 18,000 Hz 録音・再生時: 100 ~ 8,000 Hz
入力端子	マイク (ステレオミニ) ジャック1個 最小入力レベル 0.4 mV
出力端子	ヘッドホンジャック (専用リモコンジャック) 1個 負荷インピーダンス 8 ~ 300
実用最大出力 (DC時)	4 mW + 4 mW (EIAJ 16)
電源	DC 1.5 V 充電式電池 (付属: NC-6WM、1.2 V、600 mAh、 Ni-Cd) 単3形乾電池1個
電池持続時間 (EIAJ)	乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」(29ページ)をご覧ください。乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。
最大外形寸法	約109 × 78.6 × 26.4 mm (幅/高さ/奥行き) 突起部含む
質量	本体 約150 g ご使用時 約215 g (充電式電池NC-6WM、テープC-60HF含む)

ラジオ部

受信周波数 (日本国内)	FM (ステレオ): 76.0 ~ 90.0 MHz AM (モノラル): 531 ~ 1,710 kHz
--------------	--

別売りアクセサリ

ACパワーアダプター AC-E15L (日本国内用)、ACパワーアダプターAC-E15HG (海外用)、充電式ニカド電池 NC-6WM、クリーニングテープ CHK-1、ステレオイヤーレシーバー (ヘッドホン) MDR-E747V、MDR-E535V、カーバッテリーコード DCC-E215XL (日本国内用)、カーバッテリーコード DCC-E215、DCC-E215HG (海外用)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

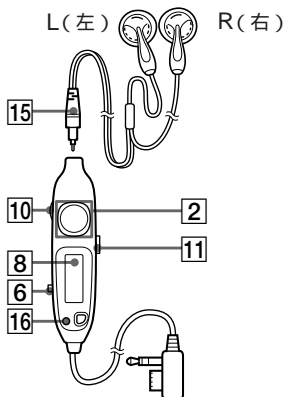
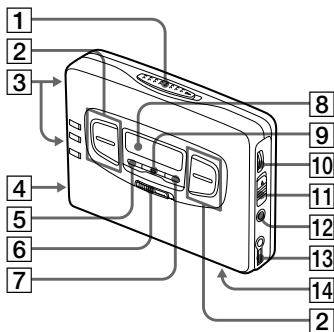
* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

各部のなまえ

テープレコーダー部 ・ 共通部

本体

リモコンつきヘッドホン



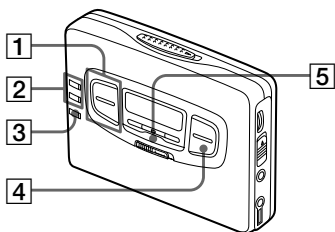
- ① オープン OPEN (カセットぶた開け) つまみ
- ② テープ操作ボタン
- ③ 乾電池ケース用接点
- ④ 充電式電池入れ
- ⑤ メニュー MENU (機能選択) ボタン
- ⑥ レコーディング REC (録音) スイッチ
- ⑦ セット SET (機能切り換え) ボタン
- ⑧ 液晶表示窓
- ⑨ バッテリー BATT (電池残量表示) ランプ

- ⑩ ボリューム 本体 : VOLUME (音量調節) つまみ
- ボリューム リモコン : VOL (音量調節) つまみ
- ⑪ ホールド HOLD (誤操作防止) スイッチ
- ⑫ マイク プラグインパワー MIC (PLUG IN POWER)
- ジャック
- ⑬ リモート REMOTE (リモコン、ヘッドホン) ジャック
- ⑭ ISS (AM放送録音妨害除去) スイッチ
- ⑮ マイクロプラグ
- ⑯ サウンド SOUND/AVLSボタン

その他

ラジオ部

本体



1 プリセット
PRESET +、- (放送局番号
選択) ボタン

2 チューニング
TUNING (選局) ボタン
エンター

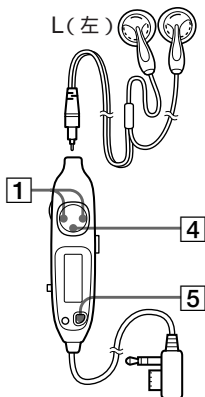
3 ENTER (入力) ボタン

4 ■・RADIO OFF (ラジオ電源
切) ボタン
ラジオ オフ

5 RADIO ON (ラジオ電源入)
バンド
BAND (FM、AM選択)
ボタン
ラジオ オン

リモコンつきヘッドホン

L(左) R(右)



Welcome !

Thank you for purchasing the Sony WM-GX655 Radio Cassette-Corder.

Some features are:

- You can enjoy low bass sounds by the powerful earphone.
- You can choose from 2 different emphasizing tones: MB (MEGA BASS) and GRV (GROOVE) to adjust to your favorite sound.
- LCD menu function that lets you select and switch functions in the display window of the main unit.
- Auto Memory Scanning function that lets you store and recall up to 8 stations for FM and 8 stations for AM automatically.
- AMS (Automatic Music Sensor) function that searches the beginning of the current and 8 previous tracks, and succeeding 9 tracks at high speed.
- Useful remote control.

► Getting Started

Preparing a Power Source

Choose one of the three power sources below; dry battery, rechargeable battery, and house current.

Dry Battery

- 1 Attach the supplied battery case.
- 2 Open the battery compartment lid, and insert an R6 (size AA) dry battery like the illustration in this manual.

When to replace the battery

Replace the battery with a new one when the BATT lamp dims.

Battery life (Approx. hours)

	Sony alkaline LR6 (WM)	Sony R6P (SR)
Tape playback	29	8
Radio reception	30	8
MIC recording	10	3.5
Radio recording	6.5	2

Note

- The battery life may shorten depending on the operation of the unit.

For maximum performance we recommend that you use an alkaline battery.

Notes

- Do not charge a dry battery.
- When you do not use the Walkman for a long time, remove the battery to avoid any damage caused by battery leakage and subsequent corrosion.
- When the battery becomes weak, the Walkman may not operate normally. Replace the battery with a new one.

Rechargeable Battery

- 1 Insert the rechargeable battery (NC-6WM) into the charger with correct polarity.
- 2 Plug in the charger to the wall outlet.
Full charging takes about 2 hours.
- 3 Insert the fully charged battery into the rechargeable battery compartment.

When to charge the battery

Charge the battery when the BATT lamp dims. You can charge the battery about 300 times.

Battery life (Approx. hours)

Rechargeable battery (NC-6WM)

Tape playback	8 36 (with Sony alkaline LR6 (WM))
---------------	---

Radio reception	9 37 (with Sony alkaline LR6 (WM))
-----------------	---

MIC recording	4 13 (with Sony alkaline LR6 (WM))
---------------	---

Radio recording	3 9 (with Sony alkaline LR6 (WM))
-----------------	--

Notes

- Do not tear off the film on the rechargeable battery.
- Use the Sony NC-6WM rechargeable battery only with the supplied battery charger or with the separately sold battery charger for Sony NC-6WM.
- Remove the charger unit from the wall outlet as soon as possible after the rechargeable battery has been charged. Overcharging may damage the rechargeable battery.
- The battery charger and the rechargeable battery may become warm during charging, but it is not a problem.
- Be sure not to short-circuit the battery. When you carry it with you, use the supplied carrying case. If you do not use the carrying case, do not carry with other metallic objects such as keys in your pocket.

House Current

Remove the rechargeable battery if inserted and attach the battery case. Connect the AC power adaptor AC-E15L for Japan (not supplied) or AC-E15HG for overseas (not supplied) to the DC IN 1.5 V of the battery case and to the wall outlet. Do not use any other AC power adaptor.

Connecting the Earphones

- 1 Connect the micro plug firmly to the remote control.
- 2 Connect the remote control to REMOTE.
You can put the longer earphone cord behind your neck.

To use the supplied clip

Position the earphones cord through the guides on the supplied clip as shown. Fasten the clip to your clothes.

Releasing HOLD

The HOLD function locks the Walkman to prevent from operating when you accidentally press a button. If the Walkman is locked, unlock it before operating.

- 1 Slide HOLD to the opposite direction of the arrow.

To lock the Walkman

Slide HOLD to the direction of the arrow.

To lock and unlock the remote control

See "Using the remote control".

▶ Operating the Walkman

Playing a Tape

The Auto Tape Selector automatically selects the tape (normal (TYPE I), CrO₂ (TYPE II), or metal (TYPE IV)) for playback.

- 1 Insert a cassette.
- 2 Press ◀▶ to start playing then adjust the volume.
If the earphones do not fit to your ears or the sound is unbalanced, turn round the earphones a little to fit to your ears firmly.

When adjusting the volume on the Walkman

Set the ◀VOL control on the remote control at maximum.

When adjusting the volume on the remote control

Set the ▶ VOLUME control on the Walkman to around 6.

To	Press
play the other side	◀▶ during playback
stop playback	■(stop)
fast forward	FF•AMS during stop
rewind	REW•AMS during stop

(continued)

find the beginning of the next track/succeeding 9 tracks (AMS*)	FF•AMS once/repeatedly during playback
find the beginning of the current track/previous 8 tracks (AMS)	REW•AMS once/repeatedly during playback
play the same side from the beginning (Rewind Auto Play function)	REW•AMS for two seconds or more during stop
play the other side from the beginning (Skip Reverse function)	FF•AMS for two seconds or more during stop



* Automatic Music Sensor

Note on AMS


- To operate the AMS, you need a blank of 4 seconds or longer between the tracks. Therefore, if there is noise between the tracks, this function will not detect the blank and will not operate. Likewise, if the recording level is moderately low within a track, this function may inaccurately operate.


To select playback mode (PB)

Press MENU repeatedly in the playback and stop mode to set the cursor to MODE (PB) in the display. Then press SET to select the desired mode.

To play	Select
both sides repeatedly	
both sides once from the side facing the cassette holder	

To play a tape recorded with Dolby* NR (PB) system

Press MENU repeatedly in the playback or stop mode to set the cursor to  NR (PB) (Dolby noise reduction) in the display. Then press SET to show "ON".

- * Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation. "DOLBY" and the double-D symbol  are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

Recording

You can record radio programmes from the built-in radio, or record with the supplied microphone. In either case, use a new or fully charged battery.

- 1 Insert a normal (TYPE I) tape with the side you want to record facing the tape holder. When you open the cassette holder, "FWD" will appear in the display window. If "REV" is displayed, open and close the cassette holder so that "FWD" appears.

2 Select a recording source:

To record from the radio
Tune in to a station you want to record (see “Listening to the Radio”). When recording FM programmes, make sure the earphones are plugged in as they serve as an aerial.

To record with the microphone
Connect the supplied microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack. You can use the supplied microphone stand as illustrated.

3 Slide REC.

“REC” appears in the display and recording starts after about two seconds.
Recording stops at the end of the side.

To stop recording

Press ■.

To reduce noise while recording AM programmes

Set the ISS (Interference Suppress Switch) to the position that reduces noise the most.

To prevent a tape from being accidentally recorded over

Break off the tabs from side A and/or B. To reuse the tape for recording, cover the tab hole with adhesive tape.

Notes

- Do not use a CrO₂ (TYPE II) or metal (TYPE IV) tape, otherwise the sound may be distorted when you play back the tape, or the previous recording may not be erased completely.
- Do not connect or disconnect the headphones to ◯REMOTE while recording from the radio. The recording condition may change abruptly, or noise may be recorded.
- When recording with the microphone, do not place it near a lamp cord or a fluorescent lamp to avoid noise interference.
- If a howling effect occurs, turn down the volume.
- While recording, only the ■ (stop) operation functions.
- MB/GRV mode does not affect recording.
- During recording, the LCD menu function is inoperable.

Listening to the Radio

- 1 Press RADIO ON•BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON•BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press TUNING+/- to tune in to the desired station. If you keep pressing TUNING+/- for a few seconds, the Walkman will start tuning to the stations automatically.

To turn off the radio

Press ■•RADIO OFF .

To improve the broadcast reception

- For AM: The Walkman has a built-in antenna. Reorient the Walkman horizontally to obtain optimum AM reception.
- For FM: Extend the cord of the remote control, the aerial. If the reception is still not good, press MENU repeatedly to set the cursor to FM MODE in the display. Then press SET to show "MONO" (monaural).

Note

- Do not remove the power sources while listening to the radio, or the received stations may not be stored.

Presetting Radio Stations

Once you store your favorite stations in memory, you can play them easily. You can preset up to 8 stations for FM and 8 stations for AM of each mode (Eur, Jpn, USA).

Tuning the Area Manually (Manual Area Call)

When you choose 1 to 8 or the JR area number, the table of Area number (factory preset) will automatically store.

- 1 Press RADIO ON•BAND to turn on the radio.
- 2 Press ENTER to flash the frequency, PRESET and the preset number in the display.
- 3 Hold down RADIO ON•BAND until "AREA 1" will flash in the display.
- 4 While "AREA 1" is flashing, press PRESET+/- repeatedly to select an area number from 1 to 8 or JR area number and then press ENTER.
- 5 Press RADIO ON•BAND repeatedly to select AM or FM and then press PRESET+/- to select a preset number you wish to listen to.

Tuning in to and Storing Radio Stations Automatically (Auto-Memory Scanning function)

- 1 Press RADIO ON•BAND to turn on the radio.
- 2 Press RADIO ON•BAND repeatedly to select AM or FM.
- 3 Press ENTER until “A” appears in the display. The Walkman starts searching and storing stations.
- 4 After the preset number appears, tune in to a station using PRESET+/-.

Storing Radio Stations Manually (Manual-Memory function)

You can preset the stations in any order.

- 1 Turn on the radio and select the desired band.
- 2 Press ENTER. The frequency digits and a preset number flash in the display.
- 3 While the frequency digits and the preset number are flashing, tune in to a station you wish to store using TUNING+/-, and select a preset number using PRESET+/-.
- 4 While the frequency digits and the preset number are flashing, press ENTER.
- 5 Tune in to a station using PRESET+/-.

Notes

- If you cannot complete step 3 or 4 while the indications are flashing, repeat from step 2.
- If you preset a new station to the same preset number, the previously stored station will be erased.

To cancel the stored station

Follow the procedure above and in step 3, instead of tuning in to a station, press and hold TUNING +/- until “----” is displayed. Press ENTER while “----” is flashing.

Receiving Stations Outside Japan

- 1 Press RADIO ON•BAND to turn on the radio.
- 2 Press ENTER. The frequency digits, “PRESET” and a preset number flash in the display.
- 3 Press and hold RADIO ON•BAND for more than 2 seconds. “AREA 1” flashes in the display.
- 4 While “AREA 1” is flashing, press PRESET+/- repeatedly to select “USA” or “Eur” and press ENTER.
- 5 Press RADIO ON•BAND repeatedly to select AM or FM and press TUNING+/- to select a station.

Area indication and frequency range

Area*	Frequency range	
	FM (MHz)	AM(kHz)
USA	87.5-108.0	530-1,710
Eur	87.5-108.0	531-1,602

- * USA : USA, Canada and Central and South America
Eur : European and other countries

Using Other Functions

Emphasizing Bass

- 1 Press MENU repeatedly in the playback or stop mode to set the cursor to SOUND in the display. Then, press SET to select the desired mode. With each press, the indications change as follows.
MB (MEGA BASS) :
emphasizes bass sound
GRV (GROOVE): emphasizes deeper bass sound
No message: off (normal)

When using the remote control, see "Using the remote control".

Note

- If the sound is distorted with the mode "GRV", select the mode "MB" or no message.

Protecting Your Hearing (AVLS)

When you set the AVLS (Automatic Volume Limiter System) function to active, the maximum volume is kept down to protect your ears.

- 1 Press MENU repeatedly in the playback, stop or radio mode to set the cursor to AVLS in the display. Then press SET to show "☺".

To cancel the AVLS function

Press SET so that "☺" disappears.

When using the remote control, see "Using the remote control".

Notes

- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with the AVLS function, turn down the volume.
- The setting is stored as long as the battery is not replaced.

Using the Remote Control

All buttons on the remote control unless otherwise noted below function identically to those corresponding on the main unit. Read the direction for your model.

To lock the buttons

- 1 Slide HOLD to the direction of the arrow.

When you press any button “Hold” appears in the display.

To unlock, slide HOLD to the opposite direction of the arrow.

Using SOUND

Press SOUND/AVLS to select the desired mode. With each press, the indications in the display changes as follows:

MB: emphasizes bass sound

GRV: emphasizes deeper bass sound

No message: off (normal)

Using AVLS

Press and hold SOUND/AVLS for two seconds or more. “☺” appears in the display.

To cancel, press and hold SOUND/AVLS for two seconds or more again.

► Additional Information

Precautions

On rechargeable battery and charger

- If the rechargeable battery is new or has not been used for a long time, it may not be charged completely until you use it several times.

- The nameplate indicating the operating voltage, power consumption, etc. is located on the bottom exterior of the battery charger.

On dry batteries

Do not carry the dry or rechargeable batteries with coins or other metallic objects. It can generate heat if the positive and negative terminals of the batteries are accidentally contacted by a metallic object.

On the unit

- Do not drop the unit or give a shock to the unit, or it may cause a malfunction.
- Do not leave the unit in a location near heat sources, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust or sand, moisture, rain, mechanical shock, or in a car with its windows closed.
- The LCD display may become hard to see or slow down when using the unit at high temperatures (above 40°C/104°F) or at low temperatures (below 0°C/32°F). At room temperature, the display will return to its normal operating condition.
- If the unit has not been used for long, set it in the playback mode and warm it up for a few minutes before inserting a tape.

On tapes longer than 90 minutes

We do not recommend the use of tapes longer than 90 minutes except for a long continuous recording or playback. They are very thin and tend to be stretched easily.

On the remote control

Use the supplied remote control only for each unit.

On headphones/earphones

Road safety

Do not use headphones/earphones while driving, cycling, or operating any motorized vehicle. It may create a traffic hazard and is illegal in some areas. It can also be potentially dangerous to play your headphones/earphones at high volume while walking, especially at pedestrian crossings.

You should exercise extreme caution or discontinue use in potentially hazardous situations.

Preventing hearing damage

Do not use headphones/earphones at high volume. Hearing experts advise against continuous, loud and extended play. If you experience a ringing in your ears, reduce volume or discontinue use.

Caring for others

Keep the volume at a moderate level. This will allow you to hear outside sounds and to be considerate to the people around you.

Maintenance

To clean the tape head and path

Use the cleaning cassette CHK-1 (not supplied) every 10 hours of use.

Note

- Use only the recommended cleaning cassette.

To clean the exterior

Use a soft cloth slightly moistened in water. Do not use alcohol, benzine or thinner.

Note

- Clean the headphones/earphones plug and microphone plug periodically.

Troubleshooting

The cassette holder does not open.

- If the tape is playing, stop and then slide OPEN.
- This condition may occur when you remove the power sources during playback or recording, or when you use exhausted dry or rechargeable battery. Set the power sources again or replace the exhausted battery with a new one.

The volume is not turned up.

If “☹” appears for AVLS display, press SET so that “☺” disappears.

A beep sounds and recording is not possible when REC is slid.

- If the tab of the tape is broken off, cover the tab hole with adhesive tape.
- If “REV” appears, open the cassette holder then close it so that “FWD” appears.

The display on the remote control is not normal

Disconnect the remote control from the Walkman, then connect it again.

The radio and playback operates but recording is not possible.

This condition may occur when the batteries become weak. Replace the batteries with new ones.

Specifications

Radio section

Frequency range

FM: 76.0–90.0 MHz

AM: 531–1,710 kHz

Tape section

Frequency response

(Dolby NR off)

Playback: 20–18,000 Hz

Recording/playback: 100–8,000 Hz

Output

Headphones (Ⓜ REMOTE jack)

Load impedance 8–300 ohms

Power output

4 mW + 4 mW (16 ohms)

General

Power requirements

1.5 V

Rechargeable battery

One R6 (size AA) battery

Dimensions (w/h/d)

Approx. 109 x 78.6 x 26.4 mm

(4³/₈ x 3¹/₈ x 1¹/₁₆ inches) incl.

projecting parts and controls

Mass

Approx. 150 g

Approx. 240 g (8.5 oz) incl.

rechargeable battery, earphones
with remote control and cassette

Supplied accessories

Battery case (1)

Stereo earphones with remote
control (1)

Clip (1)

Battery charger (1)

Rechargeable battery (NC-6WM,
1.2 V, 600 mAh, Ni-Cd) (1)

Battery R6P (SR)

Rechargeable battery carrying
case (1)

Carrying pouch (1)

Stereo microphone (1)

Microphone stand (1)

Design and specifications are subject
to change without notice.

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111